

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	16097-2
課題名	ロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術における碎石位手術体位による褥瘡を生じる要因の検証
研究期間	倫理委員会承認日～2016年11月25日
利用する情報、検体	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、身長、体重、頭低位の時間、血液データ（TP, RBC, Hb, ALB）手術後の褥瘡の発生の有無と内容・消失時期） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2014 年 2 月 1 日 ～ 2016 年 2 月 29 日
研究の意義、目的	<p>旭川医科大学病院では、泌尿器科におけるロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術（以下ダヴィンチ手術）が開始されてから約2年が経過しています。ダヴィンチ手術は、水平より30度頭部を下げ、さらに足を開いた体位（碎石位）をとることで手術を行いやすくしています。頭低位30度が保持されているのは平均4.37時間であり、手術時間は短縮されても、その体位の特殊さから、皮膚損傷のリスクは非常に高い状態であると言えます。ダヴィンチ手術で体位保持が患者に与える影響を検証することは、手術室における様々な非生理的体位における褥瘡対策を講じる根拠につながり、褥瘡発生件数を減少させるために非常に重要な課題であると考えます。</p> <p>今回の研究では、体位によって生じる褥瘡発生の第一段階である発赤の発生について焦点を当て、その有無と発生要因、発生割合を明らかにすることにより、ダヴィンチ手術における褥瘡対策や看護を検討していくことを目的としました。</p>
研究の方法	<p>過去にロボット支援腹腔鏡下根治的前立腺全摘除術を受けられた方の患者情報（年齢、身長、体重、血圧、体温、頭低位の時間、血液データ（TP, RBC, Hb, ALB）手術後の褥瘡の発生の有無と内容・消失時期）を収集します。その後、褥瘡発生の有無で2つの群に分け、各調査項目の平均値を出し、2つの群の間で比較をして分析します。</p>
その他	
個人情報について	<p>利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。</p>
問い合わせ等の窓口	<p>所属：旭川医科大学病院手術部ナースステーション 氏名：岩崎早矢 電話番号：0166-69-3501</p>